

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期飯島町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県上伊那郡飯島町

3 地域再生計画の区域

長野県上伊那郡飯島町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1975年に10,292人まで減少したものの、1995年の10,989人までは緩やかに増加していたが、それ以後は減少傾向が続いており、2020年には9,004人となっている。一方、世帯数は2005年に3,294世帯まで増加し、その後10年ほど横ばい状態が続き、2020年には3,391世帯に増加した。国立社会保障・人口問題研究所によると、2025年に人口は8,454人となる見込みとなっている。

年齢3区分別人口をみると、生産年齢人口（15～64歳）及び年少人口（0～14歳）が減少している（生産年齢人口：2015年5,216人、2020年4,672人。年少人口：2015年1,112人、2020年1,003人）一方で、老年人口（65歳以上）は増加している（2015年3,202人、2020年3,329人）。

また、自然動態については、1995年に、死亡者数（110人）が出生者数（98人）を上回って以降、自然減が続いている。加えて、死亡者数と出生者数の差が年々広がっていく傾向にあり、今後も自然減が続くことが予想される（2023年91人（出生数38人、死亡数129人）の自然減）。

なお、合計特殊出生率は、2018年まで増減を繰り返しながら全体として減少傾向にあったが、近年は1.08～1.58で推移している。

社会動態については、2021年までは転入者が転出者を上回り、社会増となっていた（2021年39人（転入者326人、転出者287人）の社会増）。2022年以降は社会減が続いている（2023年22人（転入者数304人、転出者数326人）の社会

減)。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、今後、飯島町では妊娠・出産・子育て支援を強化し、さらに飯島町から転出した若い世代のUターンを促すことや都市部からの転入を促す等、社会増減が均衡するような人口誘導を図る。そして、これらを含めたさまざまな地方創生の取り組みにより、少子化に歯止めをかけ、緩やかな人口減少と年齢構成のバランスを維持した持続可能な地域の実現を展望する。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- 基本目標 1 住民と行政の創合力による安全で安心なまちづくり
- 基本目標 2 美しく快適な暮らしの環境を将来へつなぐ
- 基本目標 3 誰もが健康で居場所と出番があり共に支え合える地域づくり
- 基本目標 4 地域特性を生かした産業の創造と振興のまちづくり
- 基本目標 5 暮らしを支える強靱で快適なライフラインの創造
- 基本目標 6 魅力向上で住みたい・住み続けたい地域づくり
- 基本目標 7 「子どもの元気」と「学びの力」でいきいき豊かな暮らし
- 基本目標 8 将来像を実現する創造力にあふれた行政基盤づくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	災害用飲料水の備蓄数 (1箱12リットル) ※1	224箱	250箱	基本目標 1
ア	飯島町LINE公式アカウント登録者数(延数) ※1	1,213人	2,000人	基本目標 1

ア	自主防災会等での防災講座の開催回数(延数) ※1	14回	100回	基本目標1
ア	自主防災会独自計画策定等支援件数 ※1	0件	5件	基本目標1
ア	消防団員数(定数対実人数) ※1	248人	250人	基本目標1
ア	電子申請・届出システムに対応した様式数(延数) ※1	54件	55件	基本目標1
ア	セキュリティインシデント発生件数 ※1	0件	0件	基本目標1
ア	飯島町公式ホームページへのアクセス件数 ※1	374,920件	380,000件	基本目標1
ア	地域循環バス年間利用者数 ※1	2,974人	5,300人	基本目標1
ア	長野県市町村職員研修センターの実施する接遇力向上研修への参加職員 ※1	2人	2人	基本目標1
ア	国、県への研修派遣職員数(延数) ※1	4人	10人	基本目標1
ア	長野県市町村職員研修センターの実施するEBPM研修への参加職員 ※1	2人	2人	基本目標1
ア	火災等消防団出動件数 ※2	3回/年	3回以内/年	基本目標1
ア	自然災害による死亡者数(延数)	0人	0人	基本目標1
イ	太陽光発電システム設置	348件	420件	基本目標2

	補助事業件数(延数) ※ 1			
イ	地球温暖化対策に関する 環境教育の実施回数 ※ 1	1回	1回	基本目標 2
イ	家庭系ごみに占める資源 物の割合 ※ 1	26.8%	23.8%	基本目標 2
イ	生活環境に関する出前講 座 ※ 1	2回	2回	基本目標 2
イ	e-tax(電子申告)確定申 告者数 ※ 1	891人	565人	基本目標 2
イ	町税収納率(現年度分) ※ 1	99.5%	100%	基本目標 2
イ	飯島町の再生エネルギー 比率 ※ 2	23.5%	33.5%	基本目標 2
ウ	年間出生数 ※ 2	38人/年	60人/年	基本目標 3
ウ	新生児訪問の実施率 ※ 1	100%	100%	基本目標 3
ウ	むし歯のない3歳児の割 合 ※ 1	90.9%	91.0%	基本目標 3
ウ	3歳児健診受診率 ※ 1	100%	100%	基本目標 3
ウ	保育園年長児の体格が肥 満・やせの割合 ※ 1	9.7%	5.0%	基本目標 3
ウ	がん検診受診率 ※ 1	28.7%	40.0%	基本目標 3
ウ	特定健診受診率(国民健 康保険)	67.4%	69.5%	基本目標 3
ウ	精密検査受診率 ※ 1	67.2%	84.0%	基本目標 3
ウ	保健師・管理栄養士等に よる健康講座参加者数 ※ 1	498人	500人	基本目標 3
ウ	自殺死亡率(人口10万人)	11.0	0	基本目標 3

	当たり) ※1			
ウ	食育ネットワーク会議の 開催回数 ※1	2回	2回	基本目標3
ウ	町内医療機関数(歯科含 む) ※1	8施設	9施設	基本目標3
ウ	感染症予防に関する啓発 回数 ※1	2回	10回	基本目標3
ウ	各種サポーター養成数(延 数) ※1	2,914人	3,200人	基本目標3
ウ	支え合いマップの定期更 新率 ※1	77.0%	100%	基本目標3
ウ	福祉施設から一般就労へ の移行者数(延数) ※1	0人	2人	基本目標3
ウ	地域活動支援センター月 間利用者数 ※1	165人	200人	基本目標3
ウ	健康寿命(平均自立期間) 男性	81.5歳	82.0歳	基本目標3
ウ	健康寿命(平均自立期間) 女性	85.6歳	85.8歳	基本目標3
ウ	要介護認定率 ※1	15.1%	17.1%以下	基本目標3
ウ	介護予防に資する通いの 場への参加率 ※1	8.5%	8.0%	基本目標3
ウ	医療・介護連携の評価(連 携ができていると思う 医療・介護職者) ※1	72.0%	70.0%	基本目標3
ウ	生活支援体制整備事業に 係るボランティア養成数 (累計) ※1	36人	100人	基本目標3
エ	担い手への農地利用集積	10.8ha	5.0ha	基本目標4

	面積（増加） ※ 1			
エ	農地流動化率 ※ 1	71.3%	80.0%	基本目標 4
エ	畦畔管理指針の作成（延数） ※ 1	1件	1件	基本目標 4
エ	スマート農業取り組み事例 ※ 1	14件	4件	基本目標 4
エ	RTK基地局利用ライセンス数 ※ 1	5件	8件	基本目標 4
エ	新規就農者数（延数）	4人	10人	基本目標 4
エ	振興作物の栽培面積（大豆）※転作作付 ※ 1	19.5ha	23.4ha	基本目標 4
エ	6次産業化に取り組む農業経営体やグループ数 ※ 1	5団体	7団体	基本目標 4
エ	水田から畑地化した面積 ※ 1	20.7ha	30.0ha	基本目標 4
エ	越百黄金作付面積 ※ 1	33.6ha	35.0ha	基本目標 4
エ	道の駅年間来場者数 ※ 1	316,541人	320,000人	基本目標 4
エ	ほ場整備（延数） ※ 1	0ha	10ha	基本目標 4
エ	水路補修箇所数 ※ 1	70箇所	50箇所	基本目標 4
エ	新規企業誘致数（延数） ※ 1	3社	3社	基本目標 4
エ	工業展参加事業者数 ※ 1	8社	10社	基本目標 4
エ	製造品出荷額 ※ 1	5,540,000万円	5,540,000万円	基本目標 4
エ	地元滞留率 ※ 1	4.4%	6.0%	基本目標 4
エ	起業数 ※ 1	3件	2件	基本目標 4
エ	町内の事業所数（延数） ※ 1	432事業所	432事業所	基本目標 4

エ	間伐実施面積 ※ 1	15.8ha	80.0ha	基本目標 4
エ	森林の管理に関する意向 調査した面積 ※ 1	17.01ha	10.0ha	基本目標 4
エ	松枯損木伐倒処理量※ 1	39.2ha	50.0ha	基本目標 4
エ	地域経済循環率 ※ 2	68.1%	70.0%	基本目標 4
オ	町道の改良延長（幅員5.5 m～）	44.7km	44.9km	基本目標 5
オ	町管理橋梁の点検数（延 数）※ 1	109橋	127橋	基本目標 5
オ	与田切・中田切川整備・砂 防事業の促進率 ※ 1	80.6%	100%	基本目標 5
オ	現都市計画の見直し案の 作成及び計画決定（延数） ※ 1	0件	1件	基本目標 5
オ	景観計画に定められた景 観形成基準への適合率 ※ 1	100%	100%	基本目標 5
オ	広告物条例に基づく許可 基準の適合率（3年ごと 点検）※ 1	79.0%	90.0%	基本目標 5
オ	公営住宅数 ※ 1	7箇所	5箇所	基本目標 5
オ	一般住宅の耐震化率 ※ 1	76.0%	90.0%	基本目標 5
オ	空き家のうち利活用され た年間の件数 ※ 1	26件	25件	基本目標 5
オ	国土調査実施済進捗率 ※ 1	72.5%	79.0%	基本目標 5
オ	水道管の管路耐震化率	79.6%	80.0%	基本目標 5
オ	下水道・合併浄化槽への	86.6%	87.0%	基本目標 5

	つなぎ込み率 ※1			
力	観光客数(与田切公園、千人塚公園、道の駅花の里いいじま、道の駅田切の里) ※1	309,100人	470,000人	基本目標6
力	Uターン者数(延数) ※1	5人	75人	基本目標6
力	結婚新生活支援事業補助金利用件数 ※1	1件	5件	基本目標6
力	協働のまちづくり推進事業補助金利用件数 ※1	12件	15件	基本目標6
力	自治会加入率 ※1	91.1%	92.0%	基本目標6
力	人口 ※2	8,559人	8,404人	基本目標6
力	人口の社会増減 ※2	-22人/年	±0人/年	基本目標6
キ	保育園待機児童数 ※1	0人	0人	基本目標7
キ	学校満足度調査(生活)の割合 ※1	82.0%	90.0%	基本目標7
キ	学校満足度調査(学習)の割合 ※1	84.0%	90.0%	基本目標7
キ	子育て支援センター利用者1歳児登録率 ※1	83.3%	100%	基本目標7
キ	生涯学習センター講座参加者延べ人数 ※1	1,155人	1,500人	基本目標7
キ	スポーツ実施率(週1回以上の運動をする人) ※1	44.0%	65.0%	基本目標7
キ	文化館利用人数 ※1	33,188人	35,000人	基本目標7
キ	学校満足度調査で「学校が楽しい」と答えた子どもの割合 ※2	82.0%	90.0%	基本目標7

キ	講座満足度調査で「講座参加により心豊かになった」と答えた方の割合 ※2	—	80.0%	基本目標7
ク	政策アイデアコンテストによる施策実現（延数） ※1	4件	5件	基本目標8
ク	将来負担比率の維持	29.4%	73.0%以下	基本目標8
ク	実質公債費比率の抑制 ※1	8.0%	10.0%以下	基本目標8
ク	標準財政規模に対する財政調整基金積立額の割合 ※1	30.2%	31.0%	基本目標8
ク	ふるさと納税金額（地方創生応援税制含まない） ※1	96,779千円	60,000千円	基本目標8
ク	公共建築物の削減延床面積（延数）※1	863.0㎡	約4,200㎡	基本目標8

※1 2026年度以降に実施する事業の効果検証に活用。

※2 2025年度以前に実施した事業の効果検証に活用。

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期飯島町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 住民と行政の創合力による安全で安心なまちづくり事業

- イ 美しく快適な暮らしの環境を将来へつなぐ事業
- ウ 誰もが健康で居場所と出番があり共に支え合える地域づくり事業
- エ 地域特性を生かした産業の創造と振興のまちづくり事業
- オ 暮らしを支える強靱で快適なライフラインの創造事業
- カ 魅力向上で住みたい・住み続けたい地域づくり事業
- キ 「子どもの元気」と「学びの力」でいきいき豊かな暮らし事業
- ク 将来像を実現する創造力にあふれた行政基盤づくり事業

② 事業の内容

ア 住民と行政の創造力による安全で安心なまちづくり事業

ふたつのアルプスに守られた豊かな自然環境の中で、将来にわたって住民みんなが安全で安心して暮らしていけるまちを目指す。

万一の災害に十分な備えを進めると共に、暮らしを支える公共交通機関の確保や役場機能の効率化を進めていく。

【具体的な事業】

- ・災害に備えた防災体制の充実
- ・先端技術を活用した未来のサービスづくり
- ・安心して暮らせる地域公共交通の確保 等

イ 美しく快適な暮らしの環境を将来へつなぐ事業

ふたつのアルプスの麓、美しい自然にはぐくまれた生活環境は住民が共有するかけがえのない財産である。この恵まれた生活環境を保全し将来の世代に引き継いでいくまちを目指す。

また、住民の生活と行政の重要な接点でもある窓口や税の業務について、接客ホスピタリティーの向上を図るとともに、公平で効率的なサービスの最適化を目指す。

【具体的な事業】

- ・脱炭素・自然共生のまちづくり
- ・資源を大切に作る生活環境づくり
- ・接客ホスピタリティー向上 等

ウ 誰もが健康で居場所と出番があり共に支え合える地域づくり事業

生涯を通じて、心も体も健康で安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護などの関係機関が密に連携し、健康増進、疾病の予防・早期発見・早期治療、福祉の充実、介護への適切な対応ができるネットワークの構築を推進する。

【具体的な事業】

- ・切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健体制
- ・「生涯健康」支援
- ・みんなが支え合う地域福祉の実現 等

エ 地域特性を生かした産業の創造と振興のまちづくり事業

ふたつのアルプスの恵みがもたらす農地や森林、水などの地域資源や、培ってきた伝統や文化を生かした、多様な産業による活力あるまちを目指す。

将来にわたって暮らしやすい町であるためには、そこに住みたいという想いだけではなく、暮らし続けるための「しごと」が必要である。地域の特性を生かしながら、新しい時代にも対応できる産業を創造していく。

【具体的な事業】

- ・将来を見据えた農地の有効利用
- ・スマート農業の推進
- ・就農希望者への積極支援 等

オ 暮らしを支える強靱で快適なライフラインの創造事業

住民の安全・安心で豊かな暮らしを支える、強靱で快適なライフラインを創造する。

道路・橋りょう、上下水道を中心とした公共インフラは暮らしの重要な要素である。リニア中央新幹線の開通や時代の変革など、将来を見据えたインフラの整備や維持管理、強靱化を進めることで暮らしやすいまちを実現する。

【具体的な事業】

- ・暮らしを支える道路の整備
- ・将来を見据えた都市づくり

- ・住宅施策と空き家対策 等

カ 魅力向上で住みたい・住み続けたい地域づくり事業

住民が自らの地域に誇りと愛着を持ち、住みたい、住み続けたいと思える魅力あるまちを目指す。

町の魅力を発掘し磨き上げる取り組みを進めることで、交流人口や関係人口、定住人口の増加を目指すとともに、将来を見据えた暮らしやすい地域づくりを住民と共に進めていく。

【具体的な事業】

- ・町の魅力を生かした観光地域づくり
- ・若者や子育て世代の人口を増やす
- ・住民参加で盛り上げるコミュニティ機能の充実 等

キ 「子どもの元気」と「学びの力」でいきいき豊かな暮らし事業

将来にわたり活力のある暮らしやすいまちのため、家庭・学校・地域・企業が一体となって子育てを支援する、安心して子どもを産み育てられるまちを目指す。

次世代を担う子どもたち1人ひとりが確かな学力と豊かな人間性、柔軟な創造性を身につけ、「生きる力」を育む学校教育を推進するとともに、誰もが生きいきと充実した人生を送ることのできる生涯学習の環境を整える。

【具体的な事業】

- ・子どもの健やかな体と豊かな心を育てる
- ・子どものための家庭環境づくりの支援
- ・芸術・文化を守りつなぐ 等

ク 将来像を実現する創造力にあふれた行政基盤づくり事業

いかなる状況においても安定した暮らしやすいまちであるために、社会の変化に対応できる、将来にわたって持続可能な行財政基盤の構築を目指す。

人口減少や少子高齢化、地方分権の進展、住民ニーズの多様化・高度化に、創造力と実行力で応えられる簡素で効率的な行政組織を構築していく。

【具体的な事業】

- ・住民ニーズに応える行政改革
- ・効果的・効率的な財政運営
- ・公共施設の適正管理・有効活用 等

※なお、詳細は飯島町デジタル田園都市国家構想総合戦略（飯島町第6次総合計画内）のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

600,000千円（2025年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月頃に重要業績評価指標KPIの進捗状況を集約し、外部有識者による効果検証を行う。検証後は速やかに飯島町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2025年4月1日から2031年3月31日まで